

資料1

新しい暮らし方の提案(暮らし方改革)について

1. 取組の背景

【国の取組】

- ・平成26年、労働力人口の減少、仕事と育児、介護、治療等の両立など、働く時間に制約がある人の増加を背景として、ワーク・ライフ・バランスのとれた誰もが活躍できる職場づくり、その実現のために生産性向上に向けた働き方・休み方の検討が内閣府で開始
- ・平成29年、官民一体で有給休暇の積極的な取得や長期休暇の見直しなど、労働者が休みを取りやすい環境を作ることを目的に、政府が「休み方改革官民総合推進会議」を設置

【地方および滋賀県の動き】

- ・令和5年に、全国知事会で休み方改革の提言がとりまとめられ、愛知県で観光振興、経済活性化を目的とした休み方改革の取組がスタート。山口県、茨城県等に取組が拡大
- ・本県では、令和5年に、「子ども・子ども・子ども」を重点政策として打ち出し、子育てにやさしいまちづくりと職場づくり、働き方改革の深化に向け、検討を始めることとなった。

2. 本県の検討の経過

○令和6年3月～

関係課による意見交換およびプロジェクトチームで、事業コンセプト等を調整

- ・愛知県と同様でなく、滋賀県らしい取組とする。
- ・目的を明確にし、万博、国スポ・障スポのレガシーも念頭におく。
- ・子どもの学びの保障に関する観点を含めて検討する。
- ・現下の財政状況、人員体制を踏まえ、効果的、効率的なものとする。

○令和6年10月

令和7年度主要施策として知事協議。提案内容で進めることが了承

○令和6年11月

企画調整会議において、事業内容、今後の進め方、当面のスケジュール等を説明

3. 事業展開 段階的な取組の推進

○令和6年度 ー準備期間ー

- ・庁内の共通理解と協力体制の構築、市町等への説明

○令和7年度 ー社会実験としての試行実施、検証ー

- ・NP0と連携した、デジタルマップ等による自由時間のコンテンツの一体的な情報発信
- ・自由時間のコンテンツとして、万博、国スポ・障スポへの訪問を呼びかけ
- ・DXの一層の推進と平日の有給休暇取得の促進等の呼びかけ
- ・(仮称)暮らし方改革コミッションの立ち上げ、行政、経済団体・労働団体、市民活動団体、企業・県民等への賛同・参画呼びかけ

○令和8年度以降 ー取組の検証、本格的な取組の検討・実施ー

4. 令和7年度の取組、スケジュール(予定)

【準備】

○令和6年12月

各部局の事業で趣旨に合致する自由時間のコンテンツについて予算照会

○令和7年1月

・予算照会結果の修正・追加照会

・各部局所管団体に関して、事業への賛同・参画依頼を行う団体の照会

○令和7年2月

令和7年度予算公表 子ども向け自由時間コンテンツ「しがのこどものなつやすみ」

○令和7年3月以降

・市町、団体、企業等への取り組み依頼、および自由時間コンテンツ照会

・各部局所管広報媒体での広報協力依頼、および媒体照会

・関係課媒体提供による子ども向けアンケートの実施

【社会実験としての試行的実施】

○令和7年5月頃

・賛同・参画団体等による（仮称）暮らし方改革コミッションの立ち上げ

○令和7年6月頃

・県ホームページ、NPOデジタルマップに自由時間のコンテンツ掲載開始

5. 庁議のねらい

- ・これから到来する社会を見据え、行政のみならず、団体、企業、県民一人ひとりへ呼びかけ、提案していくものであり、全庁的な推進が必要
- ・取組の開始にあたり、庁内各部局と連携し、協働して事業展開していくために、事業の趣旨、コンセプトの共通理解を図る。
- ・事業推進にむけた協力体制の構築に向け、意見交換を行う。